

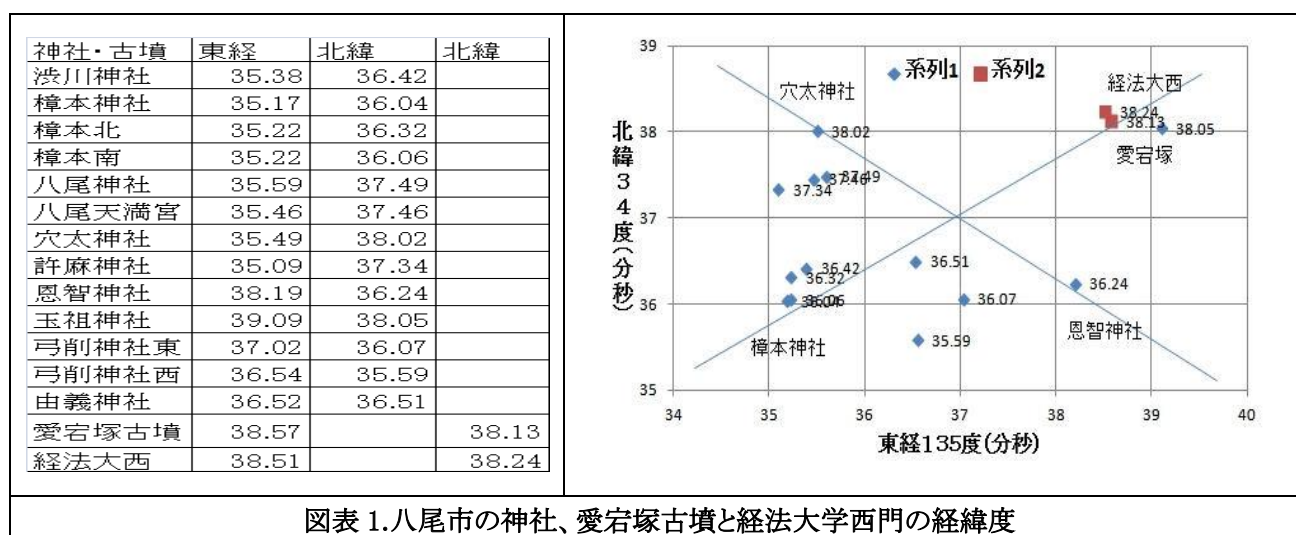
## 大阪府八尾市、大阪経済法科大学西側の愛宕塚古墳(洞窟)

沢 勲(大阪経済法科大学)・小山 博(河内新聞社)

Osaka University of Economics and Law West of Atagozuka-Kofun(Cave),  
Yao City, OSAKA  
Isao SAWA and Hiroshi KOYAMA

愛宕塚古墳(あたごづか-こふん:Atagoduka-Kofun) は、生駒山西麓部で、横穴式石室をもつ最大のホタテ貝式古墳、古墳時代後期(6-7世紀)の築造と考えられる。内部は両袖石室になり、家型石棺片に、二上山の白色凝灰岩と、播磨系の石材の二種類が使われていたことが確認されている。家形石棺片、鉄製品、鉄地金銅張の馬具一式の須恵器が出土した。古墳は府指定史跡で、出土品は府指定有形文化財になっている。愛宕塚古墳の住所とアクセスは、八尾市神立4丁目42-89、北緯34度38分13秒と東経135度38分57秒と標高95mと近鉄信貴線 服部川駅下車 徒歩20分で大阪経済法科大学西側である。

<http://inoues.net/club2/atagoduka.html>



図表 1.八尾市の神社、愛宕塚古墳と経法大学西門の経緯度

図表 1は八尾市の神社、古墳と大学の経緯度である。経緯度から考察すれば、大阪経済法科大学と愛宕塚古墳は、最北端のあることが判明できる。一方、最南端は弓削神社である。ここで、東北線と西南線に交差する点は東経135度37分と北緯34度37分であるが判明できた。詳細に説明すれば、以下の通りである。

東経の最小値は、許麻神社135度35分09秒から始まり、樟本神社135度35分17秒、樟本北135度35分22秒、樟本南135度35分22秒、渋川神社135度35分38秒、八尾天満宮135度35分46秒、穴太神社135度35分49秒、八尾神社135度35分59秒、由義神社135度36分54秒、弓削神社東135度37分02秒、恩智神社135度38分19秒、経法大西135度38分51秒、愛宕塚古墳135度38分57秒と玉祖神社39.09秒の順に大きいことが確認した。

北緯の最南端は弓削神社34°35′59″から、樟本神社34°36′04″、樟本南34°36′06″、弓削神社東34°36′07″、恩智神社34°36′24″、樟本北34°36′32″、渋川神社34°36′42″、由義神社34°36′

51"、許麻神社 34° 37' 34"、八尾天満宮 34° 37' 46"、八尾神社 34° 37' 49"、穴太神社 34° 38' 02"、玉祖神社 34° 38' 05"、愛宕塚古墳 34° 38' 13" の順に大きく、経法大西門 34° 38' 24" は最北端である。

生駒山西麓が、大阪府下でも有数の古墳群を抱えているのは、古墳時代人たちは、河内湖を横切って、生駒山や高安山の麓に上陸したと考えられる。この地域には、弥生時代から古墳時代にかけての集落遺跡が多数存在し、渡来系の文物や吉備系の土器などで見られる。古墳時代前期の、西の山、花岡山、向山等の前方後円墳。府下最大の規模の石室を持つこの愛宕塚古墳。横穴式石室の高安千塚等の群集墳、同時代後期の前方後円墳などなど。全盛時には一体幾つくらい古墳があったのか想像もつかない。大正11(1922)年に調査した結果では540基あったと記されているそうだが、7世紀あたりにはその倍くらいあったのではないかと思われる。

古墳時代前半の、東大阪から八尾にかけての一带は、三野郷(みのごう)を治めていた三野県主(みののあがためし)、教興寺辺りの豪族「秦」氏、巨麻の「狛氏」(こまし)などが支配し、6世紀あたりには八尾市全域に渡って物部氏の色が濃いと思われる。他にも、阿都物部(あとべ:跡部)氏、弓削部(弓削)氏、田井連(田井中)氏、矢作部(矢作神社)氏、渋川宿弥(しぶかわのすくね:渋川)氏、刑部氏(刑部)、高安氏(高安)、坂上氏(教興寺)、錦部連(西郡)氏などなどの名前が資料に見えるが、基本的には八尾や東大阪は古代豪族物部(もののべ)氏の居住地であり、渋川、弓削、鞍作、跡部、蛇草、衣摺などにも居住地があった事が知られている。弓削や鞍作などは、馬具・武器製作集団の居住地と考えられ、被葬者は、大豪族物部氏の幹部級という推定が成り立つ。

図1.古墳の平面図

表 1.愛宕塚古墳の規模(洞窟:mとm<sup>2</sup>)

| 図1.古墳の平面図  |      | 表 1.愛宕塚古墳の規模(洞窟:mとm <sup>2</sup> )  |      |                |      |       |       |       |       |      |  |
|--|------|---|------|----------------|------|-------|-------|-------|-------|------|--|
|  |      |   | 横幅   | 奥行き            | 高さ   | 面積    | 塚直径   | 塚高    | 塚全長   |      |  |
| <p>愛宕塚は 高安古墳群に属し、円墳形の2室塚。直径25.0m、高さ6.5m。</p> <p>大阪府下の最大石室</p> <p><b>八尾市、愛宕塚玄室</b></p> <p>横幅*奥行き*高さ<br/>2.18*6.84*4.25</p> <p>面積=14.91m<sup>2</sup><br/>体積=63.37m<sup>3</sup></p> |      | 愛宕塚玄室・沢値  | 2.18 | 6.84           | 4.15 | 14.91 |       |       |       |      |  |
|  |      | Glog.goo.ne.jp  | 2.50 | 7.20           | 4.20 | 18.00 | 22.50 | 9.00  | 15.78 |      |  |
|  |      | inoues.net  |      |                | 4.10 |       |       |       | 16.80 |      |  |
|  |      | jpn.hayashi.com   | 2.50 | 7.16           | 4.10 |       |       |       |       |      |  |
|  |      | 八尾教育委石碑   |      |                | 4.10 |       | 25.00 | 6.50  | 16.70 |      |  |
|  |      | MAX   | 2.50 | 7.20           | 4.20 | 18.00 | 25.00 | 9.00  | 16.80 |      |  |
|  |      | AVG   | 2.39 | 7.07           | 4.13 | 16.46 | 23.75 | 7.75  | 16.43 |      |  |
|  |      | MIN   | 2.18 | 6.84           | 4.10 | 14.91 | 22.50 | 6.50  | 15.78 |      |  |
|  |      | <p>大阪府下の最大石室</p> <p><b>八尾市、愛宕塚羨道</b></p> <p>横幅*奥行き*高さ<br/>1.84*7.89*2.15</p> <p>面積=14.52m<sup>2</sup><br/>体積=31.21m<sup>3</sup></p> <p>全面積=29.43m<sup>2</sup><br/>全体積=94.59m<sup>3</sup></p> <p>塚(洞)口</p> |      | 愛宕塚羨道・沢値       | 1.84 | 7.89  | 2.15  | 14.52 |       |      |  |
|  |      |   |      | Glog.goo.ne.jp | 1.95 | 8.70  | 2.20  | 16.97 |       | 6.50 |  |
| inoues.net   | 2.50 |   |      | 6.00           |      |       |       |       |       |      |  |
| jpn.hayashi.com  | 2.00 |   |      |                | 2.30 |       |       |       |       |      |  |
| MAX  | 2.50 |   |      | 8.70           | 2.30 | 16.97 |       |       |       |      |  |
| AVG  | 2.07 |   |      | 7.53           | 2.22 | 15.74 |       |       |       |      |  |
| MIN  | 1.84 | 6.00  | 2.15 | 14.52          |      |       |       |       |       |      |  |

図1は古墳の平面図である。愛宕塚は 高安古墳群に属し、円墳形の2室塚、直径25.0m、高さ6.5mである。愛宕塚玄室は、大阪府下の最大石室であり、横幅\*奥行き\*高さ=2.18\*6.84\*4.25mで、面積=14.91 平方mと体積=63.37 平方mである。愛宕塚羨道は、塚(洞)口であり、大阪府下の最大石室であり、横幅\*奥行き\*高さ=1.84\*7.89\*2.15m、面積=14.52平方mと体積=31.21 平方mである。愛宕塚の全面積と全体積は、29.43 平方mと94.59 立方mである。表1は愛宕塚古墳の規模(洞窟:メートルとm<sup>2</sup>)である。

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 写真 1.愛宕塚古墳前の道路  | 写真 2.愛宕塚古墳の墳上   | 写真 3.愛宕塚の由来  | 写真 4.古墳標石   |

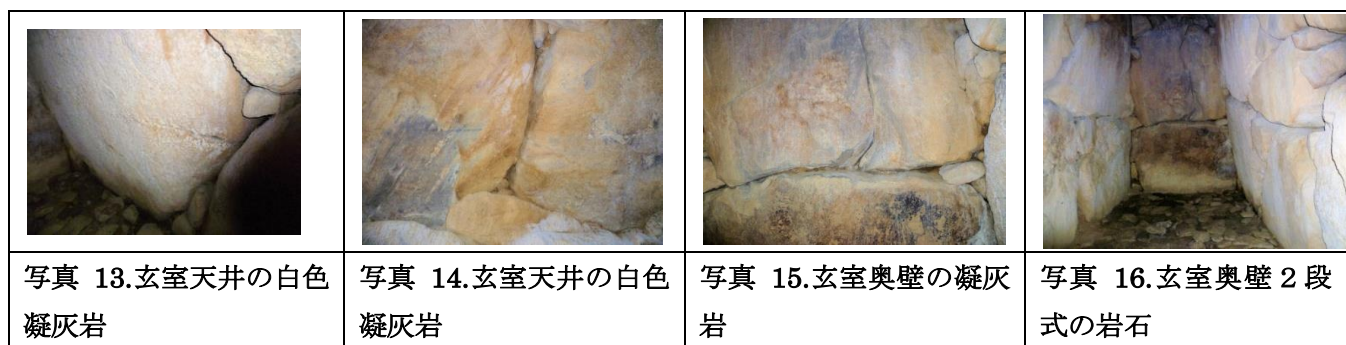
大阪府八尾市、大阪経済法科大学の西方面にある愛宕塚古墳は、正面の道路（写真1）、古墳上部写真2）、由来（写真3）である。由来は古墳時代後期の横穴式石室墳である。封土は墳頂部を除いてよく保たれており墳丘は径約25m、高さ6.5mで、円墳の形状をよくとどめている。巨石を積み上げた横穴式石室は奥行16.76m、玄室の高さ4.1mを測り、高安古墳群中最大規模の後期古墳である。石室は古くから開口していたが、昭和42(1967)年学術調査が行われた。遺物では凝灰岩製の家形石棺片、鉄製利器、金張鉄製品、土器のほか玉類、鉄地金銅張馬具など優れた副葬品が多量に残存していて被葬者の地位、性格を物語っている。【出典：『史跡の道・説明石板』（八尾郷土文化推進協議会・八尾菊花ライオンズクラブ・八尾市教育委員会、1984年）】と標石（写真4）である。

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 写真 5.古墳上の植林と花   | 写真 6.古墳上の巨岩   | 写真 7.古墳上の巨岩と枯木   | 写真 8.古墳上の傾斜樹木   |

大阪府八尾市、大阪経済法科大学の西方面にある愛宕塚古墳、古墳上にある植物・巨岩・枯木がある。写真5は古墳上の植林と花、写真6は古墳上の巨岩、写真7は古墳上の巨岩と枯木と写真8は古墳上の傾斜樹木である。



大阪府八尾市、大阪経済法科大学の西方面にある愛宏塚古墳は、羨道の天井と奥の白色凝灰岩である。愛宏塚は高安古墳群に属し、円墳形の2室塚、直径 25.0m、高さ 6.5mである。大阪府下の最大石室である。規模は横幅 1.84m\*奥行き 7.89m\*高さ 2.15m、面積=14.52 平方メートルである。写真 9 は羨道入口から撮影、写真 10 は羨道の奥口、写真 11 は側壁白色凝灰岩と写真 12 は側壁白色凝灰岩である。



大阪府八尾市、大阪経済法科大学の西方面にある愛宏塚古墳は、玄室の天井と奥の白色凝灰岩である。愛宏塚は高安古墳群に属し、円墳形の2室塚、直径 25.0m、高さ 6.5mである。大阪府下の最大石室である。規模は横幅 2.18m\*奥行き 6.84m\*高さ 4.25m、面積=14.91 平方メートルである。写真 13 は玄室天井の白色凝灰岩、写真 14 は玄室天井の白色凝灰岩、写真 15 は玄室奥壁の凝灰岩、写真 16 は玄室奥壁 2 段式の岩石である。



写真 17 は愛宏塚古墳付近の花、写真 18 は愛宏塚古墳横の池と写真 19 は向山古墳横の池である。